

AJEC

日本編集制作会社協会

平成16年4月20日発行

[事務局]

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町12-6 南平台ベルウッド6F
TEL 03-3496-0121 FAX 03-3464-6944

新時代の出版文化を担う

理事長挨拶

4月22日(木)から4月25日(日)まで東京ビッグサイトにて東京国際ブックフェア2004が開催されます。これに際し、AJEC(日本編集制作会社協会)理事長より、皆様にご挨拶申し上げます。

国内で唯一の編集制作会社の全国組織、日本編集制作会社協会は、1983年4月、編集プロダクションの有志約30社が集まり、日本編集プロダクション協会として発足しました。設立の目的は「プロダクション同士の横の連絡を持ち、諸条件を改善しながら経営的な安定を図ろう」というものでした。5年後の1987年、日本編集制作会社協会(英文略称/AJEC)と呼称を変更し、昨年の春には創立20周年を迎えることができました。

この間、出版業界およびわれわれプロダクションを取り巻く環境は大きく変わりました。かつては出版社から細々とした外注仕事を受託する企画・編集業務の下請的存在に過ぎませんでしたが、時代が変わり、多くの出版社が外部の制作会社のノウハウや人材を積極的に活用するようになりました。現在では全国におよそ2000社程度のプロダクションが存在するといわれています。もはや、プロダクションなしで出版物の制作は考えられない、といってもよい状態に至っています。

また、出版社のみならず、一般企業や団体、学校などが、多くの

出版物を発行するようになっており、出版社との仕事で培ったノウハウやネットワークを活用して、多様な企業出版物の制作にプロダクションは関与しています。

21世紀を迎え、情報化社会は驚くべきスピードで変化を遂げています。かつて雑誌や書籍はメディアの中核でしたが、現在では多様なメディアの一部に過ぎません。市場の国際化やそれに伴うコンテンツニーズの変容への対応なども、各社が取り組んでいかねばならない大きな課題です。

第75号

協会案内特集号

Contents

新時代の出版文化を担う—理事長挨拶 ／沿革	1
協会組織案内	2
年間行事実績	3
実施活動報告／総会案内／事務局だより ／新入会員社紹介	4



▲檜森雅理事長

協会活動の今年
の目標として、新
年には3つの旗印
を掲げました。

1 地方のプロダ
クションの組織化
2 新しく生まれ
た若いプロダクシ

ョンの入会増大

3 社員数数十名規模のリーディングカンパニーの加入

現在、協会には約70社のプロダクションが加盟しています。1～2年のうちにこれを100社の大台にのせ、出版業界のみならず広く一般社会に情報発信をしていくこと、多数の会員社が切磋琢磨し、また互いに情報交換を行うことで、日本の出版文化の向上にささかなりとも貢献していきたい。有為な制作会社の参集をお待ちしております。

■沿革■

昭和58年 日本編集プロダクション協会として創立。以後、総会・例会等各種会議、各分会・委員会の設立、料金表・契約書のヒナ型・会員名簿の作成、会報の発行など、創立の目的に基づく活動に取り組み、実績を残す。

昭和63年 日本編集制作会社協会(略称/日編協 英文名/ASSOCIATION OF JAPAN EDITING COMPANIES)に改称。意見集約のための諮問機関「拡大協議会」の設置や賛助会員制度の導入などがあり、活動がさらに活性化。大きな転機となる。

平成元年 現在の「編集制作プロダクションフェア」にあたる「作品展」を初めて開催。新聞・業界誌などマスコミの関心を集める。

平成5年 創立10周年を迎える。記念行事を多数開催。

平成14年 会報を、非会員の読者をも想定した「AJEC NEWS LETTER」へとリニューアル。準会員制度を新設。

平成15年 創立20周年を迎える。

協会組織案内

AJECでは、委員会・部会がその活動を主導し、「例会」をはじめとする各種行事が行われています。ここでは、それら各委員会・部会、各種行事をご紹介します。

委員会

■経営委員会

経営委員会は協会としての事業を企画し、会員の拡大に努めるとともに、編集制作会社の地位向上を目指して経営に関する諸問題への対応、顧客との信頼関係の強化促進、会員同士のコラボレーションの支援などに取り組んでいます。その一環として講師を招いた勉強会である「例会」、編集制作業界の実態をレポートした「経営白書」の作成、さらに経営に関する今日的なテーマを協議する「経営合宿」や海外研修などを開催しています。

部会

■教材部会

学校教材や塾教材、学習参考書などの企画・編集を行う会員社が集まっています。

経営全般、すなわち営業対策、雇用対策、労務管理などの案件に限らず、会員社の悩みなどに対して知恵を出し合い、仕事の面でも協力できる、相互扶助の発達した強力な部会である——そのような位置づけを堅固に維持しながら活動を実施しています。年に3~4回開かれる教材部会の会合は、実効的な意見・情報交換の場のみならず、親睦を深め、明日への活力を培う場としても機能しています。



▲例会

■広報委員会

協会の思想、方針、組織、行事などを「広く報じる委員会」では次のような活動を行っています。

①会員ガイド発行(4月) ②EDITOR'S DIARY発行(12月) ③NEWS LETTER発行(1, 4, 7, 10月) ④編集制作プロダクションフェア実施(4月)。また、AJEC賞も随時実施しています。今後は新たな顧客開拓を意図して、各メディアへの情報発信を活発にしてゆきたいと考えています。

■一般書部会

一般書部会は、出版社が発行する雑誌、ムック、書籍などの企画・編集を行っている会員社が集まっています。内容は教材以外の編集物ですが、旅行書中心のところから、各種実用書、政治経済、スポーツ、翻訳書を得意とするところまで、各社の得意分野はきわめて多岐にわたっているのが特徴です。出版社の情報交換や、人材の育成法など、毎回テーマを設けて活発な議論を行っています。

一般書部会の参加社の中には、出版社とともに我々こそ日本の出版界を支えているのだ、という強い自負と誇りを持つ会員社が少なくありません。さらに多くのプロダクションに参加を呼びかけ、出版業界の一大勢力になることをめざしています。

■教育委員会

協会会員社の新人・若手社員の人材育成を目的とした組織です。編集技術の向上やマナー教育、DTPやプリプレスの知識・技能の修得などをテーマとし、各種の「編集セミナー」や「研修会」を開催しています。昨年は「In Designの特徴とOpen Typeフォントの最新情報」などのセミナーを実施し、会員社から多数の参加がありました。



▲編集セミナー

■企業出版部会

編集制作のスキルやノウハウはPR誌や社内報をはじめ、会社案内、ニューズレター、カタログ、社史など、企業が発行するさまざまな出版物にも活かすことができます。こうした事業を手がけている会員社が集まっての情報交換と親睦の場が企業出版部会です。年に数回開催される部会では、料金問題から営業開拓、最近のトレンドや新規ツールの開発など、企業の出版物を制作していく上で貴重な情報交換が行われています。

■ デジタル部会

デジタル部会は主にデジタルメディアに関する諸問題をテーマに、編集セミナーとの協力開催や独自にゲストを招くなどして年に2～3回の部会を開催しています。

昨年8月にはデジタルコンテンツの著作権問題、10月には「In Design の特徴と Open Type フォントの最新情報」「『Quark XPress 6 日本語版』をさぐる」をテーマに開催されました。今年度もデジタル化時代にふさわしい興味をそそるテーマの部会を開催していく予定です。

■ 地方部会

孤立した活動を余儀なくされる地方の編集プロダクションにとっては、業界に共通した有益な情報や経営ノウハウ、またお互いに考えていることを率直に話し合える場を提供する AJEC への期待はたいへん高いものがあります。そのような地方会員の掘り起こしと相互の情報交換を目的とした組織が地方部会です。

年1回開催され、これまでは社員70名を擁する地方の編集制作



▲ 地方部会

会社の訪問や、「地方の出版企画を大手出版社へ」をテーマに、琵琶湖で全国の編集プロダクションの交流会等を行いました。

会員社の専門性に基づく
情報交換・親睦の場です。

教材部会

学校や塾、家庭で使われる学習教材を制作する会社の組織です。

一般書部会

一般書籍、雑誌、ムックなどを制作する会社の組織です。

企業出版部会

一般企業による出版物、PR物を制作する会社や、社内報、カタログなどを制作する会社の組織です。

デジタル部会

デジタルコンテンツを制作する会社の組織です。

地方部会

地方に活動拠点を置く会社や個人が中心となり、情報交換や親睦を目的とした組織です。

協会運営のための戦略的な活動を企画・実施します。

経営委員会

協会としての事業を企画し、経営テーマや組織拡大に取り組みます。

広報委員会

会報や手帳の発行など、協会活動のPRをおこないます。

教育委員会

社員教育や編集技術の向上を図るべくさまざまな行事を推進します。



外部講師などを招き、研究テーマにそった
会合やシンポジウムを隔月で行います。

最近の例

- ・長引く出版不況に活路はあるのか
- ・造注活動の手法を探る
- ・出版業界人材派遣事情～編集者が今枯渇している？
- ・中国の出版市場の現状と展望

年間行事实績

主要行事として、まず隔月開催の例会や、研究テーマを設け、外部講師を招く会合、シンポジウムなどが行われてきました。

また、年1回の「経営合宿」では「編集制作業経営白書」をもとに意見交換が行われ、会員各社の情報交換と業界発展のためのよい機会となってきました。

新人・若手社員の育成や業務意識の向上をねらいとした各種セミナーも毎回盛況です。専門家による研修の場である「編集

セミナー」や、最新技術の研究を目的とした「編集技術セミナー」などが定期的に行われてきました。

毎年4月には「東京国際ブックフェア」と連携し、「編集制作プロダクションフェア」を開催してきました。会員社が制作物の展示などを通してさまざまな業種の方と交流を持つ機会となるほか、会員間の相互理解や人材発掘の場となっています。

協会の発行物としては、編集者にとっての使いやすさを最大限に考慮した「EDITOR'S

DIARY」、会員社紹介誌である「会員ガイド」、そしてこの「NEWS LETTER」があり、これらの発行も行事の一つとして数え上げることができます。

さらに、親睦を深めるためのゴルフコンペや盛大な忘年会など楽しい企画も目白押しです。



実施活動報告

春の新人・若手社員 研修セミナー 4/9

4月9日、日本出版クラブ会館にて、教育委員会主催「春の新人・若手社員研修セミナー」が開催されました。第1部は「業界の全体像と編集プロダクション」と題して檜森雅美氏(株)アーク・コミュニケーションズ・代表取締役)の講演、第2部は「編集者としてのビジネスマナー」をテーマに守山晴雄氏(元株主婦と生活社『JUNON』編集長、(株)デュマ・代表取締役)の講演、第3部は「編集者とは何か～若い人への期待とこれからの編集

者のあり方～」と題して坂井一之氏(株)風讀社・代表取締役、『たまごクラブ』『ひよこクラブ』総編集長)の講演が行われました。また第4部では、協会会員社の若手編集者によるパネルディスカッションが行われました。

教材部会 1/23

1月23日、東京・神田錦町「ふくるる」にて、教材部会が16名の参加で開催されました。賛助会員社である大王製紙(株)の前田氏、また関西から村瀬氏、小北氏、丹羽氏を迎え、にぎやかでした。村瀬氏より、文部科学省による平成17

年度使用小学校および高等学校用教科書の検定期期について、また学習指導要領の改訂について説明がありました。

デジタル部会 3/12

3月12日、「アルカディア市ヶ谷」(私学会館内)にて、デジタル部会が開催されました。Quark XPress 6とPDFをテーマにおこなわれ、45名が参加しました。講師にはQuarkJapan(株)の西村浩之氏と、(株)ソフトウェア・トゥーの川井浩司氏を招き、最新バージョンのQuark 6による、PDFへの直接書出しやMacOSXへの対応、PDFの編集ソフトについてのお話をうかがいました。

総会案内

- 平成16年5月19日(水)
- 午後5時から
(午後6時より懇親会)
- 日本出版会館にて開催
役員の改選の年になります。詳細は後日お知らせいたします。

●事務局だより

2月は連日春を思わせる暖かな日が続き、梅の花も早々に咲き揃いました。しかし、3月に入るや雪が降るといふ寒さになりました。春は何かと行事の多い季節です。協会も行事が目白押しです。万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願いいたします。

<4月～5月の行事>

- 4月15日(木) A J E Cゴルフコンペ
- 4月22日(木)～25日(日) 東京国際ブックフェア 2004
- 5月19日(水) 通常総会・懇親会

新入会員社紹介 集まれ! 編集の仲間たち

正 有限会社 大空出版

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町62 芝田ビル7F
TEL 03-5155-2099 FAX03-3208-5123
URL <http://www.ozora-net.co.jp>
E-mail info@ozora-net.co.jp
代表取締役 加藤 玄一
当社の特徴→『東京ウォーカー』(角川書店)など情報誌や『パソコンを始めよう』(毎日新聞社)などムックの取材・編集。
HONDA F1をはじめとするWebの製作からNECや東芝などの企業パンフレットの製作など幅広く着手。

会社 DATA

設立 2000年4月
資本金 740万円
社員数 16名
主な取引先 大手出版社、新聞社、一般企業、広告代理店、官公庁ほか

準 有限会社 コーベット・フロンティアエンシー

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-15 九段杉本ビル2F
TEL03-5215-2442 FAX03-5215-2443
URL <http://www.corvet.co.jp>
代表取締役 丹羽 方人
当社の特徴→出版社向け資料写真エージェンシー。植物、動物、地学、環境、顕微鏡等の理学的内容の写真を60万枚管理提供。出版業界で活躍する作家活動を行う写真家61名と現在契約。意味の深い写真の百科事典的な組織を目指しています。
文化庁 著作権管理事業登録(02013)

会社 DATA

設立 2000年2月
資本金 305万円
社員数 7名
主な取引先 大手中堅出版社、編集制作会社ほか

賛助 大王製紙株式会社

〒104-8468 東京都中央区八重洲2-7-2 八重洲三井ビル
TEL03-3273-8521(代) FAX03-3273-8525
URL <http://www.daio-paper.co.jp/shuppan>
<http://www.daio-paper.co.jp>
代表取締役 井川 俊高
当社の特徴→売上高国内第3位の総合製紙メーカー。三島工場(愛媛県伊予三島市)は、単一工場としては、世界最大級の臨海工場であり、約2万種にも及ぶ紙をバルブより一貫生産しています。

会社 DATA

設立 1943年
資本金 225億円
社員数 3,111名
主な取引先 大手出版社、新聞社、印刷会社、官公庁ほか